

中山間地域等直接支払交付金

実績報告書作成手引き

《集落協定用》

令和5年12月



農村振興課中山間地域農業対策室

実績報告書の作成について

年度末に作成して市に提出する「交付金事業実績報告書」は、その年度において集落協定書に基づいて実施した活動や交付金の活用状況などを市に報告する書類であり、活動が適正に行われたことを表す重要な書類となります。

実績報告書類の作成に当たっての留意事項を本手引きによりお示します。内容を確認の上、適切に書類を整理してください。

なお、様式データにも記載が示されていますので、参考にしてください。

○記入例の見方

赤字 : 集落協定の皆さんが記入するもの

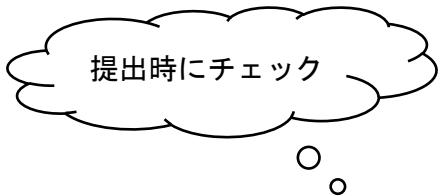
青字 : 記入方法の説明など

活動日誌			
記入例			
日 時	令和○年 5月25日 (日) 8時00分～11時00分		
活動区分 及び内容 (該当に○)	鳥獣被害防止対策	農道の管理 (草刈り等)	○
	共同利用機械・施設	水路の管理 (草刈り、泥上げ等)	○
	多面的機能増進活動	農地の管理 (畦畔の草刈り等)	
	土地利用調整・法人設立関係	その他	○
	販売促進・交流促進		
	(その他の場合：具体的活動内容)		上記以外の活動の場合、具体的に記入すること
場 所 (該当に○)	上越北農道	○	
	上越南農道	○	
	木田用水路	○	
		○	その他

目 次

1	実績報告時の提出書類一覧	P.3
2	提出書類の記入例	
	① 交付金実績報告書(第3号様式)	P.5
	② 活動報告書	P.6
	③ 集落協定に係る会議録	P.7
	④ 活動日誌・活動写真	P.9
	⑤ 収支決算書	P.11
	⑥ 金銭出納簿	P.13
	⑦ 収入調書	P.14
	⑧ 支出命令書	P.15
	⑨ 貸金明細書	P.16
	⑩ 内規(貸金や借上げ料の単価が書かれているもの)	P.17
	⑪ 交付金通帳口座の写し(本年度分が記載されたページ)	P.18
	⑫ 加算措置取組状況報告書(棚田地域振興活動加算)	P.19
	⑬ 加算措置取組状況報告書(上記以外の加算)	P.20
	⑭ 共有資産管理台帳	P.21
	⑮ 多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更届出書	P.22
	⑯ 上記⑮の変更内容を記載した協定書の写し	P.23

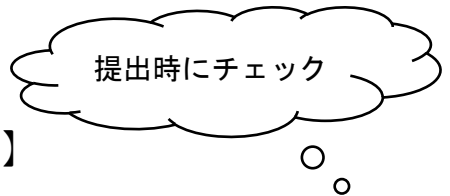
1 実績報告時の提出書類一覧 (1)



【全ての集落協定が提出する書類】

書類名	☑
① 交付金事業実績報告書(第3号様式)	<input type="checkbox"/>
② 活動報告書	<input type="checkbox"/>
③ 集落協定に係る会議録	<input type="checkbox"/>
④ 活動日誌・活動写真	<input type="checkbox"/>
⑤ 収支決算書	<input type="checkbox"/>
⑥ 金銭出納簿	<input type="checkbox"/>
⑦ 収入調書	<input type="checkbox"/>
⑧ 支出命令書	<input type="checkbox"/>
⑨ 貸金明細書	<input type="checkbox"/>
⑩ 内規(貸金や借上げ料の単価が書かれているもの)	<input type="checkbox"/>
⑪ 交付金通帳口座の写し(本年度分が記載されたページ)	<input type="checkbox"/>

1 実績報告時の提出書類一覧 (2)



【加算措置に取り組む集落協定が提出する書類】

書類名	<input checked="" type="checkbox"/>
⑫ 加算措置取組状況報告書(棚田地域振興活動加算)	<input type="checkbox"/>
⑬ 加算措置取組状況報告書(上記以外の加算)	<input type="checkbox"/>

【50万円以上の共有資産を保有している集落協定が提出する書類】

書類名	<input checked="" type="checkbox"/>
⑭ 共有資産管理台帳	<input type="checkbox"/>

【実績報告により協定書の変更がある集落協定が提出する書類】

書類名	<input checked="" type="checkbox"/>
⑮ 多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更届出書	<input type="checkbox"/>
⑯ 上記の変更内容を記載した協定書の写し	<input type="checkbox"/>

② 活動報告書【全集落協定が対象】

活動報告書は、集落協定におけるその年度の活動概要をまとめた書類です。集落協定に位置付けた実施すべき活動は、漏れなくその概略を「集落協定に係る会議録」や「活動日誌」などから抜き出して記載します。

記入例

令和 年度 中山間地域等直接支払交付金 活動報告書

集落協定名： 〇〇集落協定

代表者名： △△ △△


項目	日付	内容
農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動		
鳥獣被害防止対策	8月1日	協定農用地に電気柵を設置し、耕作者に維持管理を委託
共同利用機械・施設	4月10日 4月10日	共同利用施設(育苗施設)の整備を委託 共同機械(トラクタ)の整備・修繕を委託
【必須】 多面的機能増進活動※1	8月14日 8月20日	上越北農道に花植栽を実施 協定農用地周辺林地の草刈りを実施
土地利用調整・法人設立関係	10月10日	法人設立に伴う先進地視察(〇〇市)を実施
農産物等の販売促進・都市住民との交流促進関係	8月3日	稲田米パッケージ作成を業者に委託
水路、農道等の維持・管理等集落の協同取組活動		
農道	4月20日 10月28日	農道路肩の草刈りを実施 農道路肩の草刈りを実施
水路	4月20日 10月28日	水路法面の草刈りを実施 水路法面の草刈り、泥上げを実施
農用地の維持・管理活動		
農地※2		集落戦略の作成は必須事項です。 話し合いをした実施状況を記載してください。
集落活動		
集落戦略※3	11月20日 1月19日 2月9日 2月29日	集落戦略の作成に向けた話し合いを実施 地域計画の策定に向けた地域懇談会(第1回) 地域計画の策定に向けた地域懇談会(第2回) 地域計画の策定に向けた地域懇談会(第3回)
その他	6月15日 8月5日 1月20日	市主催説明会出席 共同防除(カメムシ)を実施 除雪支援隊が高齢者世帯の玄関先除雪を実施

※1と※2は必須取組事項 ※3は体制整備単価(10割)交付要件

③ 集落協定に係る会議録【全集落協定が対象】

「集落協定に係る会議録」は、活動計画や交付金の使途などを決定するために開催した会議(総会、役員会等)の内容や参加者の合意状況を明らかにする書類として、全ての集落協定が開催の都度、作成します。

交付金の支出を伴う会議の場合は、別の「会議録・作業日報」も合わせて作成します。

集落協定に係る会議録	
記入例	
会議名	総会 ・ 役員会
日時	令和〇年〇月〇日(〇曜日) 午後 〇時〇〇分 ~ 〇時〇〇分
場所	〇〇集会所
参加者氏名	〇〇 〇〇
	×× ××
	△△ △△
	■■ ■■
	計 4 名
内容 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和〇年度 事業報告及び決算報告 (別紙) ・令和〇年度 事業計画及び予算 (別紙) ・積立金及び繰越金の取扱いについて ドローン購入積立金として〇〇万円、春期普請賃金等として 〇〇万円確保する。 ・共同機械整備修繕を〇月に委託する。
日誌記録者氏名	■■ ■■
上記のとおり会議を開催し、参加者の同意を得ました。	
令和〇年〇月〇日	
代表	■■ ■■ 

「集落戦略の作成」は、通常単価(10割単価)の交付要件です。
 これに関係した話し合いを毎年実施する必要がありますので、次のように必ず記録してください。

ワークショップ(地域計画の策定に向けた地域懇談会や新潟県ビジョン推進事業など)に参加した場合は、その旨を記載します。

記入例

集落協定に係る会議録

会議名	地域計画の策定に向けた地域懇談会 第〇回 (集落戦略の作成に関係)
日時	令和〇年〇月〇日(〇曜日) 午前・午後 時 分～ 時 分
場所	〇〇集会所
参加者氏名	〇〇 〇〇
	×× ××
	△△ △△
	■ ■ ■ ■
内容 (特記事項)	・集落戦略の作成に関係する「地域計画の策定に向けた地域懇談会」に出席し、地図を確認しながら、耕作継続が難しい農地の引き受け手等について検討を行った。
日誌記録者氏名	■ ■ ■ ■

上記のとおり会議を開催し、参加者の同意を得ました。

令和 年 月 日

記載不要

1/1

印

④ 活動日誌・活動写真【全集落協定が対象】

「活動日誌・活動写真」は、集落協定書に基づく農業生産活動や多面的機能増進活動などの取組や交付金の使用状況を明らかにする書類です。集落協定書に位置付けた実施すべき活動について、漏れなく作成します。

また、参加者に支払う賃金や借り上げ料の単価は、「⑩内規(賃金や借り上げ料の単価が書かれているもの)」と一致するように注意してください。

記入例		活動日誌					
日 時	令和〇年 5月25日(日)		8時00分～11時00分				
活動区分及び内容 (該当に○)	鳥獣被害防止対策		農道の管理(草刈り等)			○	
	共同利用機械・施設		水路の管理(草刈り、泥上げ等)			○	
	多面的機能増進活動		農地の管理(畦畔の草刈り等)				
	土地利用調整・法人設立関係		その他			○	
	販売促進・交流促進						
(その他の場合: 具体的活動内容)							
・水路脇の雑木の伐採							
上記以外の活動の場合、具体的に記入すること							
場 所 (該当に○)	上越北農道					○	
	上越南農道					○	
	木田用水路					○	
						その他	
	(その他の場合)						
賃金及び借り上げ料単価は、内規で示す単価と一致すること							
参加者氏名	単価・数量等	合計		参加者氏名	単価・数量等	合計	
参加者に○	賃金	借り上げ料		参加者に○	賃金	借り上げ料	
○○ ○○	○	3,000	500	3,500			
×× ××							
△△ △△	○	3,000	500	3,500			
■ ■ ■ ■	○	3,000	1,000	4,000			
(多面的機能支払交付金を充てる場合)							
△△ △△				0			
■ ■ ■ ■				0			
総 計	参加者	3 人		賃金	9,000 円		
				借り上げ料	2,000 円		
活動に係る物品等 ※(支出Noも記入のこと)	品 名	金額	数量	計	支出No.		
	賃金			9,000円	1		
	借り上げ料			2,000円	2		
	草刈機チェーンソー	2,100	3	6,300円	3		
合 計				17,300円			
その他(特記事項)	水路脇の雑木の伐採にあたり、■ ■ ■ ■からチェーンソー(半日:500円)を借り上げた。						
当初予定に無かった活動については、特記事項として記入すること							
日誌記録者氏名	△△ △△						
※ 場所は、協定書「(別紙様式3) 協定対象施設の管理方法」の施設を記入すること							
※ 活動状況がわかる写真を添付すること							

取組の状況がわかる写真を添付します。作業写真は、「作業前」「作業中」「作業後」の3枚の写真をできるだけ同じ位置から撮影してください。(人数が少なくて作業中の撮影が困難な場合は、作業前後の各1枚でもかまいません)

活動写真



上越北農道

作業前



上越北農道

作業中



上越北農道

作業後

⑤ 収支決算書【全集落協定が対象】

「収支決算書」は、その年度(毎年4月から翌年3月まで)における中山間地域等直接支払交付金の収入・支出内容を明らかにする書類です。

中山間地域等直接支払交付金の使途は、集落協定参加者同士で取り決めた「協定書」に位置付けた取組に関することにしか使用できませんので、注意してください。なお、集落協定参加者の総意に基づいて、集落協定書の記載内容を変更することは可能です。

作成のポイント

【共通】

- 内容は、中山間地域等直接支払交付金に関するもののみとし、運転資金の一時借入や別の事業に関するものは一切記入しません。
- 収支は同額となり、差額残金は「0円」となります。(手元の現金・預金残高は、積立金・繰越金として適正に処理します)
- 年度末の口座残高は、翌年度以降に支出する積立金及び繰越金の総額と一致する必要があります。
- 外部団体(棚田地域振興協議会など)に支出した活動費が余った場合は、年度末までに残金を集落協定に戻します。(積立金・繰越金は集落協定で管理します)

【収入の部】

- 交付額は、当年度に市から交付された交付金の額を記入し、説明欄に「共同取組活動」と「個人配分」、「各加算措置」の額を記入します。
- 過年度の積立基金取り崩し額や前年度繰越金は、当年度内に取り崩したものののみ記入します。

【支出の部】

- 中山間地域等直接支払交付金を充てた支出案件のみ記入します。
- 説明欄は、できるだけ詳細に記入します。
- 支出額は、当年度交付金を充てた金額を()書きにします。
- 交付金は当年度内に使用することが原則ですが、目的を明らかにした積立金として翌年度以降に支出することも可能です。その場合は、総会等で参加者の合意を得るとともに、「5. 毎年の積立額または次年度への繰越予定額」に内容を記入します。
- 翌年度、当面の運転資金として若干の交付金を「事務目的繰越金」として繰り越す場合も、前項と同様に「5. 毎年の積立額または次年度への繰越予定額」に記入します。ただし、さらに翌年度に繰り越すことはできませんので、翌年度、早期に消化する必要があります。

記入例

令和◆年度 中山間地域等直接支払交付金 収支決算書

本体交付金と加算措置に分けて金額を記入する

集落協定名： ○○集落協定
代表者名： △△ △△

1. 収入

項目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	説明
1. 交付金	3,000,000	3,000,000	0	本体交付金
				共同取組活動
				個人配分
				加算措置
				棚田地域振興活動加算
				超急傾斜農地保全管理加算
				集落協定広域化加算
集落機能強化加算				
生産性向上加算				
2. 積立基金取り崩し額	300,000	300,000	0	(基金名) 水路高上げ基金 (金額) 300,000円
3. 前年度繰越金	150,000	150,000	0	(用途) 春期普請資金等 (金額) 150,000円
合計	3,450,000	3,450,000	0	

目的別積立金の取り崩し額を記入

加算措置の取組みに対する支出の場合は○を記入する

2. 支出

項目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	説明		加算措置の支出に「○」
				(内容)	(金額)	
1. 役員等の各担当者の活動に対する経費	98,000	98,000	0			
・役員報酬	95,000 (95,000)	95,000 (95,000)	0	代表	50,000円	
				副代表	10,000円	
				会計・書記	30,000円	
・研修会等費	3,000 (3,000)	3,000 (3,000)	0	役員	5,000円	
				市主催説明会(2人出席)	3,000円	
2. 農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費	820,000	820,000	0			
・鳥獣害防止対策費	110,000 (110,000)	110,000 (110,000)	0	電気柵設置資金	50,000円	
				電気柵維持管理費	60,000円	
・共同利用機械購入等費	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	0	共同機械整備修繕費	300,000円	
				共同利用施設整備費	50,000円	
・共同利用施設整備等費	50,000 (50,000)	50,000 (50,000)	0	花植栽経費	30,000円	
				周辺林地の草刈り賃金	30,000円	
・多面的機能増進活動費	60,000 (60,000)	60,000 (60,000)	0	先進地視察関係費	100,000円	○
				棚田米パッケージ作成費	200,000円	○
・土地利用調整関係費	0	0	0			
・法人設立関係費	100,000 (100,000)	100,000 (100,000)	0			
・農産物等の販売促進関係費	200,000 (200,000)	200,000 (200,000)	0			
・都市住民との交流促進関係費	0	0	0			
3. 水路、農道等の維持・管理等集落の協同取組活動に要する経費	600,000	600,000	0			
・農道、水路管理費	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	0	農道・水路草刈り賃金等	200,000円	
				水路高上げ工事費	300,000円	
				水路の泥上げ	100,000円	
4. 農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費						
・農地管理費	650,000	650,000	0			
5. 毎年の積立額または次年度への繰越予定額	650,000	650,000	0			
・積立金	500,000 (500,000)	500,000 (500,000)	0	(基金名) ドローン購入積立金 (金額) 500,000円		○
・繰越金	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	0	(用途) 春期普請資金等 (金額) 150,000円		
6. その他	282,000	282,000	0			
	282,000 (282,000)	282,000 (282,000)	0	棚田地域振興協議会事務費	30,000円	○
				除雪支援隊活動費	170,000円	○
				共同防除助成	82,000円	
7. 個人配分	1,000,000	1,000,000	0			
	1,000,000 (1,000,000)	1,000,000 (1,000,000)	0	(金額) 個人配分	1,000,000円	
合計	3,450,000	3,450,000	0			

支出額のうち、本年度の交付金額を()書きとします。例では、支出額600,000円のうち450,000円には、積立金の取り崩しや繰越金を充てているので、その残である150,000円を()書きにしています。

次年度への目的別積立金や繰越金を記入。必ず、総会で合意形成を図ること

3. 収支状況

収入	支出	残金
3,450,000円	3,450,000円	0円
(3,000,000円)	(3,000,000円)	(0円)



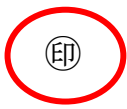
上記の積立金、繰越金と整合すること
また、年度末残高は必ず、口座残高と一致すること

4. 積立金・繰越金の管理状況

基金の種別	年度始残高 ①	期中取崩額 ②	期中積立額 ③	年度末残高 ①-②+③	積立先
ドローン購入積立金			500,000円	500,000円	JAえちご上越 ○○支店
春期普請資金等	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円	JAえちご上越 ○○支店
合計	150,000円	150,000円	650,000円	650,000円	※口座残高と一致確認






⑦ 収入調書【全集落協定が対象】

「収入調書」は、その年度(毎年4月から翌年3月まで)における中山間地域等直接支払交付金の収入を適正に処理した証拠となる重要な書類です。収入が発生する度に作成し、複数の役員で確認(押印)したものを、収入の根拠となる書類(交付金交付決定通知書など)と一緒に保管します。

記入例		収入調書					
令和 5 年度	令和 5 年 7 月 28 日 (金)			No. 5			
	代表		副代表		会計		
項目	交付金						
	收支決算書の項目を記入する						
	金	1,500,000				円	
	金銭出納簿と一致すること						
	但し、	中山間地域等直接支払交付金7月概算払い				として	

⑧ 支出命令書【全集落協定が対象】

「支出命令書」は、その年度(毎年4月から翌年3月まで)における中山間地域等直接支払交付金を使った支出を適正に処理した証拠となる重要な書類です。支出すべき事案の度に作成し、複数の役員で確認(押印)したものを、支出の根拠となる書類(請求書や領収書など)と一緒に保管します。

記入例		支 出 命 令 書					
令和 5 年度	令和 5 年 7 月 28 日 (金)	No. 6					
下記の金額の支払いを命ずる。		代 表		副 代 表		会 計	
項目	農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費						
支出費目	多面的機能増進活動費						
		收支決算書の項目を記入する					
金	10,000 円					※	
但し、		花代金				として	
※別紙、請求書・領収書のとおり		金銭出納簿と一致					
【立替払いした場合】							
○○ 集落協定 代表者 様							
上記の立替払いした金額を領収しました。							
令和 5 年 7 月 28 日 住所 上越市…							
氏名							
							

⑨ 貸金明細書【全集落協定が対象】

「貸金明細書」は、集落協定書に基づく活動に従事した人たちに日当を支払った場合、その内容を対象者別に表すとともに、本人の日当受領を明らかにする書類です。当該支出をした支出命令書と一緒に保管します。

記入例

賃 金 明 細 書							(〇〇集落協定)		
作 業 名	周辺林地の 草刈	共同防除	農道草刈	作業名、作業日、支出 命令No.を記入する			合 計	支 払 方 法	受 領 印
作 業 日	〇月〇日	〇月〇日	〇月〇日						
支 出 No.	No.3	No.7	No.8	No.	No.	No.			
上越 太郎	50,000						50,000	現金	㊟
上越 二郎	50,000	25,000	30,000				105,000	現金	㊟
上越 三郎			10,000				10,000	口座	-
上越 四郎	50,000	25,000	30,000				105,000	現金	㊟
合 計	150,000	50,000	70,000				270,000		

作業者名を記入する

合計を記入する

現金渡しの場合は本人の受領印を、口座振り込みの場合は金融機関の受付印が押印された振込伝票の写し（ATMでの振込の場合は利用明細書の写し）を添付してください。

⑩ 内規(貸金や借上げ料の単価が書かれているもの)

【全集落協定が対象】

「内規」は、共同取組活動の参加者に貸金や刈払機等の借り上げ料を支払う際の根拠を示す書類です。参加者には、この内規に示した単価から金額を計算し、支払う必要があります。

また、この内規に示す単価は、役員会や総会で決定したものとし、参加者の同意を得たものとしてください。

〇〇集落協定 内規

集落協定の役員報酬、作業賃金、委託費用については、下記のとおり定める。

1 役員報酬

役職名等	金 額
代表者	円
副代表	円
書記担当	円
会計担当	円

2 作業賃金(1時間当たり)

作業名等	金 額		
	1時間	半日	1日
作業賃金	円	円	円
事務作業	円	円	円

3 機械使用料(1時間当たり)

機械名等	金 額
草刈り機(燃料費込)	円
自走式草刈り機(燃料費込)	円
チェーンソー(燃料費込)	円
軽トラック(燃料費込)	円

4 旅費

役職名等	金 額		
	1時間	半日	1日
旅費	円	円	円

車借り上げ料 00 円/km または、1回 0000 円

5 事務委託料

年間 円

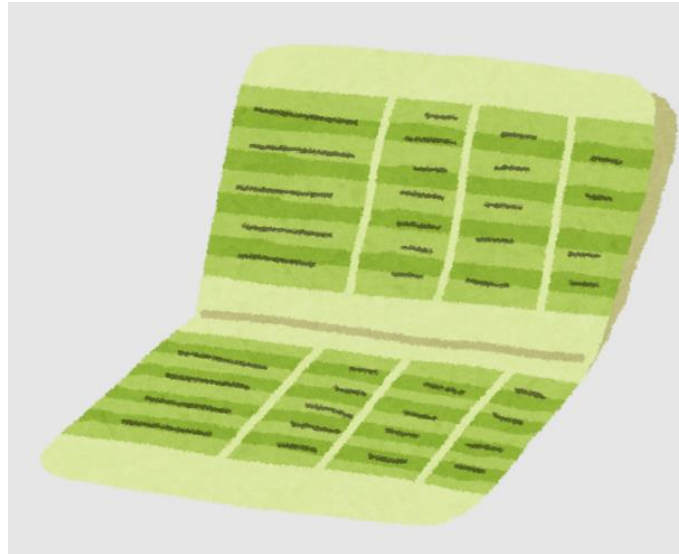
⑪ 交付金通帳口座の写し(本年度分が記載されたページ)

【全集落協定が対象】

「交付金通帳口座の写し」は、⑥金銭出納簿の入出金状況の確認や⑤収支決算書の内容を確認するために必要な書類です。

年度(毎年4月から翌年3月まで)の入出金の流れがわかるページの写しが必要です。

また、年度末の口座残高は、翌年度以降に支出する積立金及び繰越金の総額と一致する必要があります。



⑫ 加算措置取組状況報告書(棚田地域振興活動加算)【該当のみ】

「加算活動取組状況報告書」は、協定に位置付けた目標の達成に向けて、この1年間に取り組んだ内容を表すもので、集落協定書に定めた加算による目標の達成状況を判断するための書類です。

目標年度までに定めた目標が達成できない場合は、開始初年度に遡って加算金を全額返還することになりますので、本書類の作成に当たり、目標達成状況をよく確認してください。

記入例

集落協定名	令和2年度から令和6年度まで	報告年度	令和○年度	当年度加算金額	2,000,000円
中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書(棚田地域振興活動加算)	令和2年度から令和6年度まで	令和6年度	令和6年度		
●●集落協定					
年度	年度別取組状況				
① 棚田等の保全	② 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	③ 棚田を核とした棚田地域の振興			
(生産性・付加価値の向上) ・共同作業の実施、無人ヘリコプターによる共同防除を行う。 (R2年度 ●●地区4集落の20%を防除→R6年度 ●●地区4集落の60%を防除) 協定書第9の記載内容を転記する	(販売の拡大) ・インターネット販売の推進(ホームページを新たに開設) ・独自米袋を作成し、中山間地米のブランド販売を開始する。(R2年度よりR6年度 インターネット販売を開始、独自米袋による販売を開始)	①～③の目標達成に向けた積立金を記入する 棚田地域振興協議会の事務費を記入する			
防除効果を高めるために地区全体の連防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約15ha、30%、交付金100,000円を全体の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。	独自米袋を作成した。また、イベントに出店し、独自米袋を使った中山間地米の販売を開始した。	各取組の体制作りについて、地区内で協議し、確保する隊員が担当役割や除害支援業務を整理した。雪下ろし支援隊員◆人を確保し、◆軒を計◆回、除害支援した。交付金800,000円を機械購入のために積立てた。	各取組のための事務用品費、消耗品等に支出した。	各取組のための事務用品費、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 800,000円
令和2年度	加算金支出額 400,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 300,000円	900,000円
令和3年度	防除効果を高めるために地区全体の連防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約20ha、40%、交付金100,000円を全体の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。	インターネット販売をすすめるため、パソコンの購入や通信機器整備を要請した。また、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売を開始した。引き続き、イベント出店による中山間地米の販売を行った。	雪下ろし支援隊の体制について、地区内で協議し、確保する隊員が担当役割や除害支援業務を整理した。新たに雪下ろし支援隊員◆人を確保し、◆軒を計10人ほど、◆軒を計◆回、除害支援した。交付金400,000円を機械購入のために積立てた。	各取組のための事務用品費、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 600,000円
令和4年度	加算金支出額 500,000円	加算金支出額 300,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 300,000円	700,000円
令和5年度	防除効果を高めるために地区全体の連防除に取り組んだ。また、個人対応している農業者に共同防除への加入を推進した。地区の水稲作付面積約50ha、うち共同防除面積約25ha、50%、交付金100,000円を全体の防除面積の拡大に伴う費用の増加に備えて積立てた。	引き続き、独自米袋を使った中山間地米のインターネット販売及び、イベント出店による中山間地米の販売を行った。	◆軒を計◆回、除害支援した。交付金600,000円を機械購入のために積立てた。	各取組のための事務用品費、消耗品等に支出した。	① 100,000円 ② 0円 ③ 600,000円
令和6年度	加算金支出額 600,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 300,000円	700,000円
令和6年度	加算金支出額 650,000円	加算金支出額 200,000円	加算金支出額 150,000円	加算金支出額 300,000円	700,000円
令和6年度	目標に対する活動内容や達成状況、支出金額について記入する				
令和6年度	加算金支出額 円	加算金支出額 円	加算金支出額 円	加算金支出額 円	円

※総会資料、取組状況がわかる活動記録などを添付してください。

⑬ 加算措置取組状況報告書(上記以外の加算)【該当のみ】

記入例				
中山間地域等直接支払交付金 加算措置取組状況報告書				
協定名	●●集落協定	報告年度	令和 ○ 年度	
加算名称	超急傾斜農地保全管理加算	当年度 交付金額	3,200,000 円	
取組年度	令和 2 年度から令和 6 年度まで 協定書第9の記載内容を転記する			
目標	<p>[超急傾斜農地の保全]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該農地の法面について、畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施する。 農作業の安全性を確保するため、圃場進入路の緩傾斜への改良等を実施する。 当該農地の土砂流入、流出を防ぐため、水路の定期的な見回りと必要に応じ泥上げ等を行う。 農作物等の鳥獣害による被害防止のため、電気柵の設置、点検、補修等を行う。 <p>[農産物の販売促進等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該農地を含む協定農用地で生産される農作物を、地域のイベントや直売施設等を活用してPRする。 当該農地を含む協定農用地で生産される農作物をPRするため、共通パッケージを作成し、農産物販売時に活用する。 			
年度別 取組状況	年度	取組内容	加算金 支出金額	達成※
	令和2年度	[超急傾斜農地の保全] 各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検を行った。 [農産物の販売促進等] 共通パッケージを作成し、農産物販売に活用した。	3,200,000 円	
	令和3年度	[超急傾斜農地の保全] 各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。圃場進入路の緩傾斜への改良、水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等] 〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージによる販売に活用した。	3,200,000	
	令和4年度	[超急傾斜農地の保全] 各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等] 〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージによる販売に活用した。	目標に対する活動内容や達成状況、支出金額（積立以外）について記入する	
	令和5年度	[超急傾斜農地の保全] 各管理者が畦畔の補修、定期的な草刈り等による適切な維持管理を実施した。圃場進入路の緩傾斜への改良、水路の定期的な見回りと泥上げ、電気柵の設置、点検、補修を行った。 [農産物の販売促進等] 〇〇市に出店し、農作物をPRするとともに、共通パッケージによる販売に活用した。	3,200,000	
	令和6年度	活動内容がわかる写真等を貼り付けるか、別紙で作成する。		
	関係写真貼付け欄 (別紙のとおり)			

※写真のほか、打合せの記録など取組の状況がわかる書類を添付してください。

⑭ 共有資産管理台帳【該当のみ】

「共有資産管理台帳」は、交付金によって取得した50万円以上の機械等の資産を購入した場合は作成が必要な書類です。

また、集落協定内で共同利用するにあたり、機械等利用管理規程、機械等利用簿と一体で書類の整備が必要です。

共用資産管理台帳														
施設・機械名	型式等	購入先	設置場所	事業実施期間		購入額(円)	管理責任者	負担区分(円)		処分制限期間		処分の状況		備考
				着工年月日	完了年月日			交付金	その他	耐用年数	処分制限年月日	承認年月日	処分の内容	
バックホー	〇〇建機 0.0m ³	〇〇建機販売	〇〇集会所 格納庫	R4.4.15	R4.4.15	4,000,000	上越 直樹	3,500,000	500,000	5年	R9.4.14			
マルチローター	〇〇ドローン 〇〇-30	〇〇農機	〇〇宅 格納庫	R4.6.10	R4.6.10	2,500,000	上越 弘子	2,500,000	-	7年	R11.6.9			
精米所	延床面積 〇m ²	〇〇住建	〇〇区〇〇 町〇〇番地	R4.4.20	R4.7.30	6,000,000	上越 交次	3,000,000	3,000,000	15年	R19.7.29			
精米機	株〇〇 SE-〇〇	〇〇農機	〇〇区〇〇 町〇〇番地	R4.8.10	R4.8.15	2,500,000	上越 付吉	2,500,000	-	7年	R11.8.14			
トラクタ	株〇〇 KB-〇〇	〇〇農機	〇〇集会所 格納庫	H27.5.5	H27.5.5	3,500,000	上越 金子	3,500,000	-	7年	R4.5.5	R4.5.6	売却	

(参考様式第17号)

記入例

⑮ 多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更届出書

【計画書・協定書の記載に変更が生じた集落協定】

「多面的機能発揮促進事業に関する計画変更届出書」は、次のような事項により、集落協定書の記載内容に変更が生じた場合に市に提出する必要がある書類です。実績報告書類の提出時に限らず、記載内容に変更が生じた場合は、随時、市に提出してください。

翌年度、協定農用地面積や交付金額に変更が生じる場合は、毎年6月30日までに申請する「多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更認定申請書」で手続きをします。

変更届出書の提出が必要な場合(実績報告書の時点で提出する例)

- 役員に変更が生じた場合(集落協定書第1の1)
- 交付金の使途に変更が生じた場合(集落協定書第7の2)
- 交付金の積立・繰越計画に変更が生じた場合
(集落協定書第7の3)
- 交付金の個人配分割合・金額に変更が生じた場合
(集落協定書第7の4)

※ 今回提出する実績報告書の決算額と積立金額・個人配分額が異なる場合は、計画変更届出書の提出が必要です。

作成例	令和〇年〇月〇日
(宛先) 上越市長	集落協定代表者印(代表者 認印)の押印は不要です
協定名	〇〇協定
代表者氏名	〇〇 〇〇
多面的機能発揮促進事業に関する計画の変更届出書	
中山間地域等直接支払交付金に係る計画書の変更をしたいので「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する活動計画書」を添えて届出ます。	

⑩ 上記⑮の変更内容を記載した協定書の写し

パターン1: 役員に変更が生じた場合(集落協定書第1の1)

第1 集落協定の実施体制		作成例
1 集落協定の管理体制(構成員の役割分担)		
役職名等	氏名	
代表者	〇〇〇〇	
書記担当	〇〇〇〇	
会計担当	〇〇〇〇	
共同機械担当	〇〇〇〇	
土地改良施設担当	〇〇〇〇	
法面点検担当	〇〇〇〇	
注) 事務作業が一部の者に集中して過大な負担となっていないか、事務作業を担う者への報酬が適正な水準となっているか等について、協定参加者で確認すること。		

パターン2: 交付金の使途に変更が生じた場合(集落協定書第7の2)

第7 交付金の使用方法等

- 1 交付金は、集落を代表して〇〇〇〇が市町村より受け取る。
- 2 次の通り支出する。

変更後の使途・金額を
記入します

	項 目	交付金使途の内容(項目)	金 額
共同 取組 活動	①役員等の各担当者の活動に対する経費	役員手当、総会開催	300,000円
	②農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費	都市住民との交流イベント開催、機関誌発行、栽培技術勉強会開催	2,000,000円
	③水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動に要する経費	鳥獣害防護柵設置 水路の改修、農道の生コン舗装	1,000,000円
	④農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費	景観作物資材の購入、農業機械のメンテナンス	500,000円
	⑤毎年の積立額又は次年度への繰越予定額	3のとおり	100,000円

パターン3: 交付金の積立・繰越計画に変更が生じた場合
(集落協定書第7の3)

3 交付金の積立・繰越に係る計画

① 交付金の積立
(ア) 積立計画

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6
積立予定額	100,000円	102,000円	98,000円	85,000円	
積立累計額	100,000円	202,000円	300,000円	385,000円	

(イ) 取り崩し予定等

- 取り崩し予定年度: 6年度 (協定期間内)
- 取り崩し予定年度における積立累計額: 385,000円
- 用途: ドローン購入に要する経費 (具体的に記入)

② 次年度への繰越

- 繰越予定年度: 6年度 (当該年度の翌年度)
- 繰越予定額: 15,000円
- 用途: 事務処理に要する経費 (具体的に記入)

その年度に実際に積み立てた金額とします

その年度末の残高と一致します

積立金を除く年度末時点の当年度残額を1円単位で記入します

※繰越金は、次年度速やかに使用する必要がありますので注意してください!

パターン4: 交付金の個人配分割合・金額に変更が生じた場合
(集落協定書第7の4)

4 次のとおり支出する。

	金額
個人配分	(配分割合: 70%) 6,538,425円

当年度に個人配分した額と一致する額・割合を記入します

- 協定は、参加者全員で取り決めましょう。
- 特定の人への負担や活動内容、収支状況等を知らない参加者がいないようにしましょう。
- 活動内容や交付金の使途は、話し合いにより決定し、参加者の中で情報を共有しましょう。
- 話し合った内容等は議事録等の文書として残しておきましょう。